

政策課題分野 VII

個性あふれる地域づくり

VII-6 都市緑化ベルトの整備

神奈川の都市のみどりについては、緑地の保全や都市公園の整備などの様々な施策に取り組んできました。しかし、都市部においては都市開発の進展により緑地の減少が著しく、現存する貴重な地域のみどりの保全を図るとともに、積極的なみどりの創造が急務となってきています。

また、農地や雑木林、集落が一体となった身近なみどりである里山は、後継者難などから荒廃化が進んでおり、良好な里山環境の保全を図ることが課題となっています。

●豊かなみどりとふれあいスペースの保全と活用

様々な手法を活用して魅力ある都市公園などの整備を促進するとともに、緑地保全地区など法令に基づいた指定やトラスト緑地制度の活用などにより身近なみどりの保全と活用を図ります。

また、農家、都市住民、市町村などとの協働・連携により里山の保全活動を進めます。

戦略プロジェクト

50 都市と里山のみどりの保全と活用

〈現状と課題〉

- ・都市のみどりの減少により地域環境や生活環境が悪化し、みどりのネットワーク形成が求められています。
- ・うるおいの場であるべき里山の荒廃が進んでいる一方、ボランティア団体などによる里山保全活動の動きが進んでいます。



魅力ある都市公園の整備 (県立あいかわ公園)

〈めざすすがた〉

都市公園や里山などのみどりが保全され、都市にうるおいを与えるとともに、人々のいこいの場となるみどりのオープンスペースが確保・活用され、快適な生活環境が実現されています。

〈目標〉

○市街地におけるみどりのスペース (累計)

(単位：ha)

実績 (2002)	現状 (2003見込)	2004	2005	2006
50,152	50,367	50,737	51,157	51,727
うち都市公園 3,805	3,900	4,000	4,100	4,300

(「県関係課で調査集計」)

〈取り組む事業〉

県と市町村が役割分担のうえ連携して、都市公園などの整備、地域制緑地の指定・買入や里山づくりなど身近なみどりの確保を進め、広域的なみどりのネットワーク化を図るとともに、みどりの保全と活用をNPOや地元団体などの多様な主体と協働・連携で進めます。

No.	構成事業	項目	単位	現状 (2003見込)	年度別目標		
					2004	2005	2006
1	魅力ある都市公園などの整備 様々な事業手法を活用してだれもが利用しやすい魅力ある県立都市公園などを整備するとともに、市町村の都市公園整備を支援します。	県立都市公園の整備 (県)	ha	11 (494)	6 (500)	33 (533)	110 (643)
		市町村の都市公園整備への支援 (県)		支援	支援	支援	支援
2	身近なみどりの確保 地域制緑地制度による法令に基づいた緑地の計画的な指定・買入やトラスト緑地制度による緑地の買入・借入などにより身近なみどりを保全します。	緑地の保全 (県・市町村・民間)	ha	120 (46,467)	120 (46,587)	120 (46,707)	120 (46,827)
3	里山づくりの推進 里山のモデル地区を選定し、農家、都市住民、市町村などとの協働・連携による里山の保全活動などを進めます。	里山モデル地区における保全活動の推進 (県・市町村・民間)	箇所 ha	制度検討	3 (3) 150 (150)	4 (7) 200 (350)	5 (12) 250 (600)
		里山保全条例(仮称)の制定 (県)		調査	検討	素案	制定